

ご相談は担当書記にご連絡ください
担当書記：工藤 真由

メール：kudou@doken-shibuya.jp

ほくぶの日々

発行：北部分会
編集：北部分会教宣部
住所：渋谷区幡ヶ谷2-18-6
電話：03-6304-2315

Doケンちゃんフェス

地域貢献で技能労働者のイメージアップ

【分会教宣部長

大鐘 弘資】

10月6日(日) 昨年に引き続き恵比寿公園でDoケンちゃんフェスティバルを行いました。天気は多少雨模様の曇りでしたが、多くの家族連れが訪れ、盛況な地域貢献イベントになったと思います。

北部の出し物は焼き鳥販売と塗装体験で、焼き鳥は2百50本完売。賄いように持ってきたフランクまで商品にしてしまいました。



上棟式で家づくりを見学する子供たち

体験をし、描いたものを持って帰るご家族もいました。

目玉の上棟式は、多くの子供たちを近くで座ってもらい、木造建築の建て前の一部をわかりやすい説明とともに披露しました。

今回のフェスは、飲食では西部のシェウマイ・東部のビールやジュース、子供向けとして、木工教室・射的・コースター作り・さいころ作り・昔遊び・ボールすくい、土建本来の住宅相談・アスベスト等々、一日ゆっくり楽しめるイベントでした。

住宅デー恒例の包丁とぎこそできませんでしたが、地域の皆さんは満喫できたと思います。



焼き鳥販売



【分会教宣部

小泉 淳子】

氷川神社例大祭が9月22、24日と三日間執り行われました。初日は朝8時から氷川神社の神主様に来て頂き、御神輿に御霊入れをして安全な運行を願って厳かに執り行われました。

22日は12時から小中神輿、太鼓の運行ではご家族連れや親子で参加して、小さな子供達が太鼓の山車を引き楽しそうに誇らしげに一生懸命に歩いていました。



北部恒例となった塗装体験

イ」と掛け声を出して、勇ましくも頼もしい姿を見せて、お父さんもお母さんも嬉しそうでした。23日も小中太鼓が運行し、空手演舞も参加して前日以上に賑わっており、前日と同様に褒美にお菓子を頂いて嬉しそうでした。

北部仲間も大勢参加 氷川神社まつり

途中の休憩所ではヤクルトや麦茶が振る舞われ、安全対策も取られてました。毎年

子供の成長を感じます。

祭りと言えば太鼓の音やお囃子の音も祭り彩っています。13時から大人神輿渡御が出発し氷川神社へと向かい宮入りをして四町会連合で氏子の方も多い中で氷川神社例大祭を盛り上げ

小学生以上の子供達は小中神輿を得意げに誇らしげに御神輿を担いで良い顔して、大きな声で「ワッショイ、ワッショイ、ワッショイ」と掛け声を出して、勇ましくも頼もしい姿を見せて、お父さんもお母さんも嬉しそうでした。23日も小中太鼓が運行し、空手演舞も参加して前日以上に賑わっており、前日と同様に褒美にお菓子を頂いて嬉しそうでした。

て、各町会へと向かい練り歩き不動通りへと戻り、阿波踊りの方々と不動尊に入り阿波踊りコラボで賑やかに、華やかに盛り上がっていました。これも毎年、祭りに携わる多くの方々のお陰で成り立っています。先祖代々、親子、兄弟、友達で携わっている人や祭りの同好会の繋がりで盛り上げています。

この中には北部の仲間も多くなります。

祭禮総責任者の和田平さんを始め、濱野元彰さん親子、堀江正さん兄弟、古田昭人さん親子、田中慎哉さんご夫妻、私の家族も一生懸命に一年掛けて携わり頑張っています。「努力に勝る宝なし」皆さん努力を惜しまず協力していると感じていきます。

今年も無事に事故もなくお祭りが出来た事を感謝しております。

お知らせ

10月は拡大館です。

皆さんの周りに土建を必要としている人がいないか、改めて見直して声を掛けてみてください。北部の仲間を増やしましょう。

北部分会役員一同